

市役所等の地球温暖化対策

平成29年度地球温暖化対策実践結果  
エネルギー等使用量減で  
CO2排出量を削減

地球温暖化の影響と思われる海水温の上昇やそれに伴う北極海域の海水面積の縮小化、局地的集中豪雨など世界的異常気象が続いています。国は、平成9年に温室効果ガスの削減を定めた「京都議定書」により「地球温暖化対策の推進に関する法律」を定め、これは、社会経済活動等による温室効果ガス排出の抑制等を促進し、地球温暖化対策の推進を図ることを目的としたものです。このなかで、各地方公共団体の事務や事業に係る温室効果ガス排出抑制計画の策定、実践結果を公表することが義務付けられています。

市役所等の実行計画

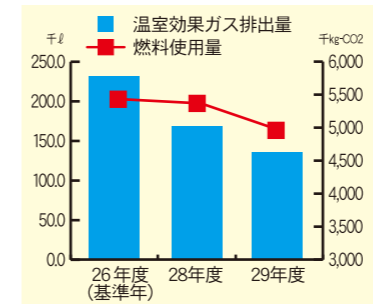
本市では「枕崎市等地球温暖化防止活動実行計画」を平成18

●平成29年度CO<sub>2</sub>換算温室効果ガスの排出量(対基準年度) 単位: kg-CO<sub>2</sub>

対象	種類	平成26年度(第3次基準年)		平成29年度		対基準年
		排出量	構成比	排出量	構成比	
市役所	CO <sub>2</sub>	3,360,224.9	97.0%	2,685,223.9	96.3%	▲20.1%
	CH <sub>4</sub>	27,203.6	0.8%	27,233.3	1.0%	0.1%
	N <sub>2</sub> O	76,123.2	2.2%	76,169.1	2.7%	0.1%
	計	3,463,551.7	100.0%	2,788,626.3	100.0%	▲19.5%
衛生管理組合	CO <sub>2</sub>	2,203,896.3	94.1%	1,686,158.3	92.0%	▲23.5%
	CH <sub>4</sub>	11,613.1	0.5%	12,285.0	0.7%	5.8%
	N <sub>2</sub> O	126,259.4	5.4%	133,551.9	7.3%	5.8%
	計	2,341,768.8	100.0%	1,831,995.2	100.0%	▲21.8%
<b>合計</b>		<b>5,805,320.5</b>		<b>4,620,621.5</b>		<b>▲20.4%</b>

●CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)・・・代表的な温室効果ガス。石油、石炭等の化石燃料が主な発生源  
●CH<sub>4</sub>(メタン)・・・稲作、家畜の消化管内発酵、廃棄物の埋め立てなどから発生  
●N<sub>2</sub>O(一酸化二窒素)・・・燃料の燃焼、工業製品の製造などにより発生

●燃料使用量と温室効果ガスの排出量比較



29年度は20・4%削減

平成29年度温室効果ガス総排出量は、約4621トンを、基準年度(平成26年度)と比較し削減していることを目指すものです。

引き続き市の事務及び事業に関し、率先して地球温暖化対策に向けた取り組みを推進するため、平成28年度に第3次の実行計画を策定しました。第3次の実行計画は、平成26年度を基準年度とし、計画の期間を平成28年度から平成32年度までの5年間としています。最終年度終了時に5年間の取り組み結果が基準年度排出量の5%削減になることを目指すものです。

河川氾濫や土砂災害等を  
想定し防災訓練

防災訓練

九州北部豪雨および西日本豪雨を教訓とし、集中豪雨等による河川氾濫や土砂災害等を想定した市総合防災訓練が9月23日、妙見センターで行

われ、宝寿庵地区住民や消防署、消防団、警察署、自主防災組織などから約400名の参加がありました。始めに妙見センターを避難



①給水訓練 ②応急処置訓練 ③炊き出し訓練 ④防災講演会

避難所・経路などは事前にチェックを

もしものときのため、家族が離れ離れになったときの安否確認の方法や集合場所などを決めておいてください。

また、避難場所や避難経路はあらかじめ確認し、非常用持ち出し袋など防災グッズについても準備や点検など、備えを万全にしておくようお願いいたします。

■問合せ 総務課危機管理対策係 TEL 72-1111(内線214)

市民の皆さんへ

エアコンの省エネ温度(冷房は28℃、暖房は20℃を目安)の設定やこまめな消灯、エコドライブ、ごみ3R(ごみ分別の徹底やごみ量を減らす)への取り組み等々、市民一人一人ができる実践も効果的です。CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>(コツコツ)と身近なところから取り組むことで、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を減らすことができます。一緒に取り組みを進めましょう。

※3Rとは・・・①ごみを減らすこと、Reduce(リデュース) ②繰り返し使うこと、Reuse(リユース) ③資源として再利用すること、Recycle(リサイクル)という言葉の頭文字の3つのRをとってつくられた言葉で、ごみ減量やエネルギー節約のキーワードです。



1185トンの20・4%の削減となりました。具体的には、ガソリン、灯油、軽油、A重油、LPガスの燃料使用量が約19・56%減少しました。このように、燃料使用量を減らすことで、温室効果ガス排出量の削減が図られました。

市では、第3次実行計画に従

い、引き続き温室効果ガス排出量削減のため、積極的な取り組みを進めていきます。

※実践結果及び計画の詳細は、市ホームページに掲載しています。

■問合せ 市民生活課環境整備係 TEL 72-1111(内線327)

コミュニティ助成事業

宝くじの助成金で公民館の設備・備品を整備

一般財団法人自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業として行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの受託収入を財源に地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることに

より、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものです。

本市では宝寿庵公民館が助成を受け、公民館の施設・備品の充実を図りました。

◎整備した設備・備品

屋外テント、エアコン、液晶テレビ、冷蔵庫、音響設備一式、会議用テーブル、折りたたみ椅子、キャリー動噴ほか6品



▲エアコン ▲冷蔵庫 ▲液晶テレビ

